

Cisco DSL ルータの設定とトラブルシューティング ガイド - RFC1483ブリッジングの実装

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[RFC 1483ブリッジングの実装](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、RFC 1483ブリッジング実装について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

RFC 1483ブリッジングの実装

Asymmetric Digital Subscriber Line (ADSL ; 非対称デジタル加入者線) サービスに対して、次のRFC 1483ブリッジング実装のいずれかを選択します。

- [Integrated Routing and Bridging \(IRB\)](#) : (推奨) IRB機能により、Cisco DSLルータはATMインターフェイス (ADSLインターフェイス) でトラフィックをブリッジし、そのトラフィックをイーサネットインターフェイスでルーティングできます。IRBを有効にすると、Cisco DSLルータは、ネットワークアドレス変換(NAT)オーバーロード、NATプール、スタティックNAT、

ダイナミックホストコントロールプロトコル(DHCP)サーバなどの付加価値サービスを実行できません。

- [純粋なブリッジング](#) : 純粋なブリッジング実装では、Cisco DSLルータはイーサネットブリッジへの単純なADSLとして機能し、付加価値サービスを提供できません。

『Cisco DSL ルータの設定とトラブルシューティング ガイド』の[メインページに戻ります。](#)

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)